

学校へのアンケート調査

(ヤングケアラー支援に係る実態調査票)

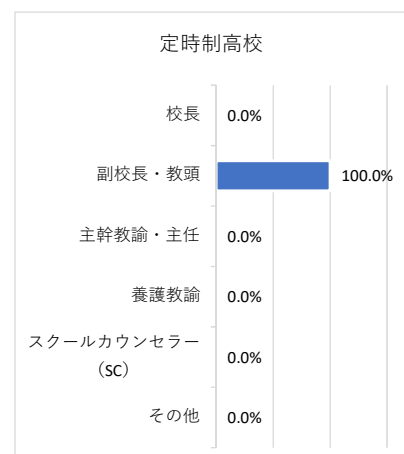
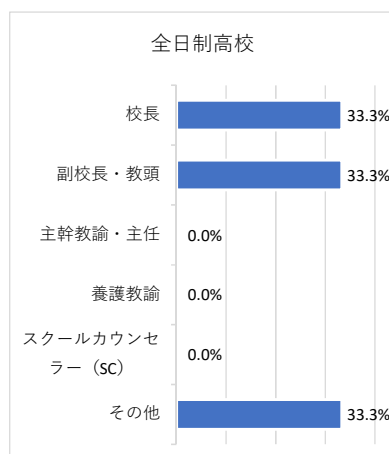
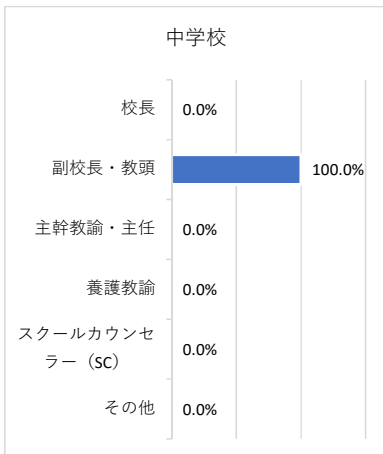
【調査目的】
恵庭市内のケアラーおよびヤングケアラーの早期発見や実態・課題・支援ニーズの把握及び今後の計画策定や施策検討に役立てることを目的に実施する。
【主な調査項目】
<ul style="list-style-type: none"> ・「ヤングケアラー」という言葉の認知度 ・校内におけるヤングケアラーの有無 ・ヤングケアラーへの対応状況 ・必要と思われる支援
【調査対象】
恵庭市内の中学校および公立・私立高校（全日制・定時制） (各学校へ調査票配布)
【調査件数】
9件
【回答件数】
9件（回収率100.0%）

※調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。

A. 基本情報

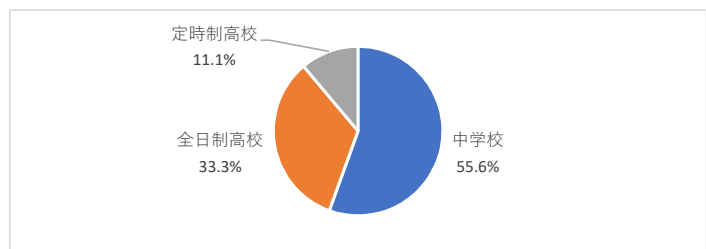
問1 ご回答された方の役職をお教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
校長	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	11.1%
副校長・教頭	5	100.0%	1	33.3%	1	100.0%	7	77.8%
主幹教諭・主任	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
養護教諭	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
スクールカウンセラー（SC）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	11.1%
総計	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	9	100.0%



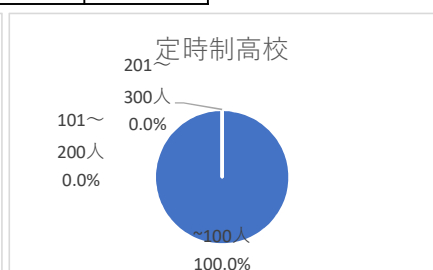
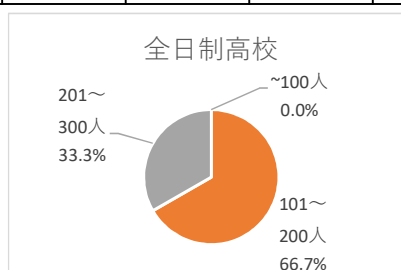
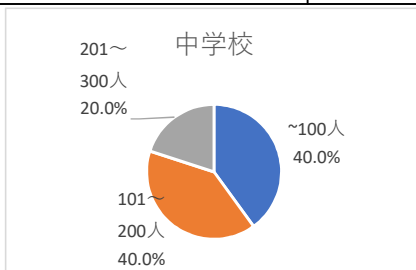
問2 貴校の学校区分をお教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

	件数	割合
中学校	5	55.6%
全日制高校	3	33.3%
定時制高校	1	11.1%
総計	9	100.0%



問3 中学校については中学2年生、高等学校については高校2年生の生徒数についてお教えてください。（令和4年4月1日時点）

	中学校		全日制高校		定時制高校	
~100人	2	40%	0	0%	1	100%
101~200人	2	40%	2	67%	0	0%
201~300人	1	20%	1	33%	0	0%
総計	5	100%	3	100%	1	100%

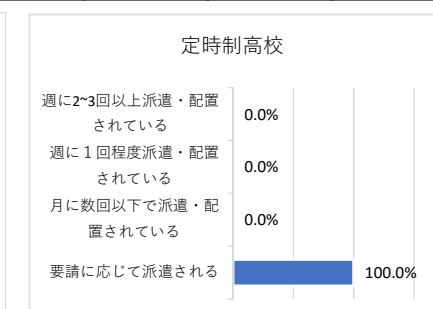
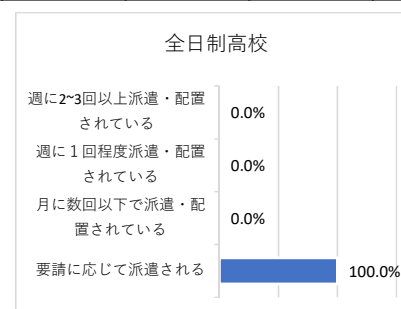
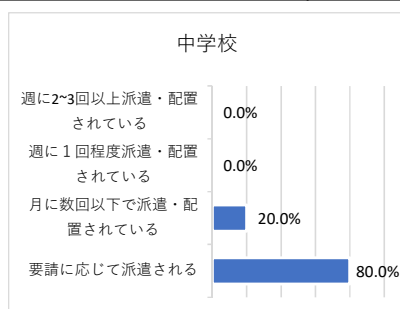


B. 支援が必要だと思われる子どもへの対応についてお伺いします。

問4 SSW（スクールソーシャルワーカー）、SC（スクールカウンセラー）の派遣・配置状況をお伺いします。

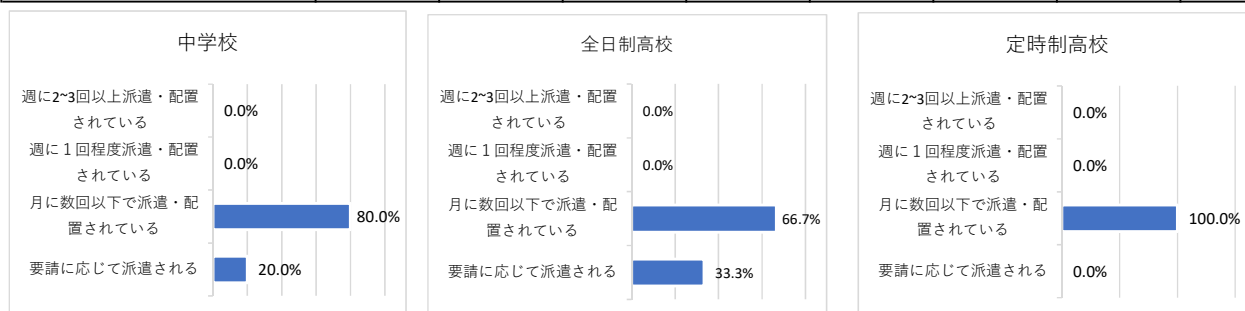
（1）SSWの派遣・配置状況（あてはまる番号1つを選択）

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
週に2~3回以上派遣・配置されている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週に1回程度派遣・配置されている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
月に数回以下で派遣・配置されている	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%
要請に応じて派遣される	4	80.0%	3	100.0%	1	100.0%	8	88.9%
総計	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	9	100.0%



(2) SCの派遣・配置状況 (あてはまる番号1つを選択)

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週に2~3回以上派遣・配置されている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週に1回程度派遣・配置されている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
月に数回以下で派遣・配置されている	4	80.0%	2	66.7%	1	100.0%	7	77.8%
要請に応じて派遣される	1	20.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	22.2%
総計	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	9	100.0%

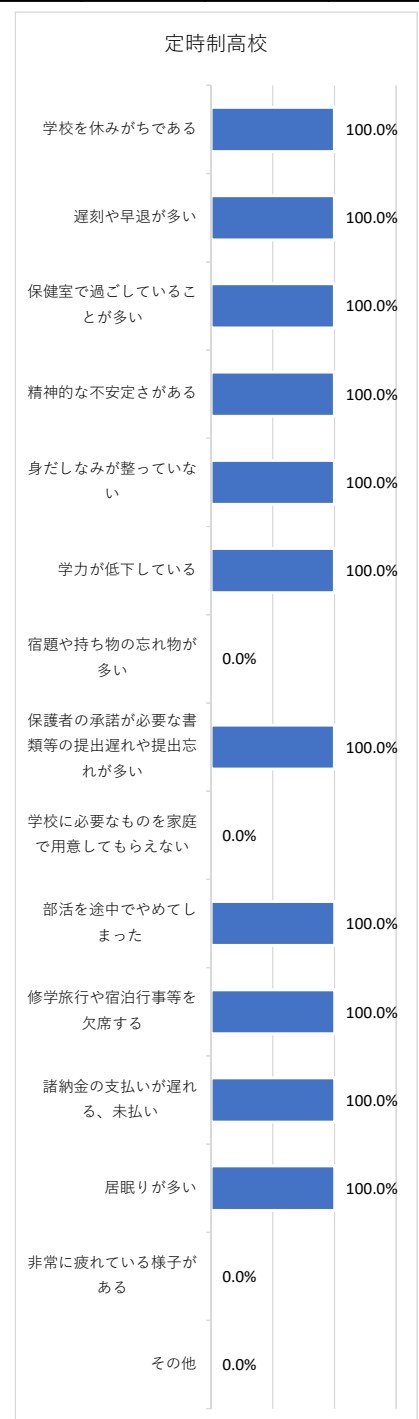
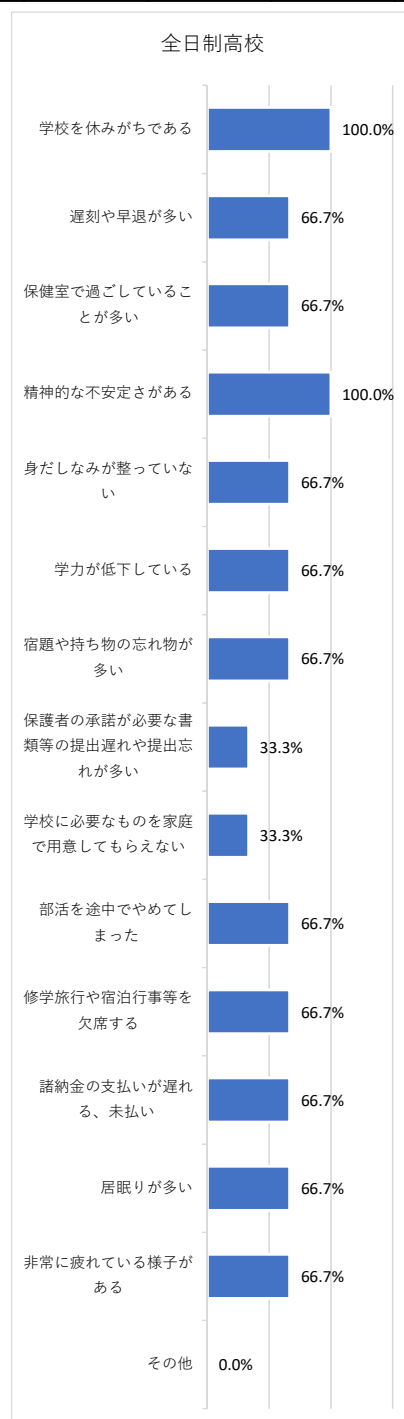
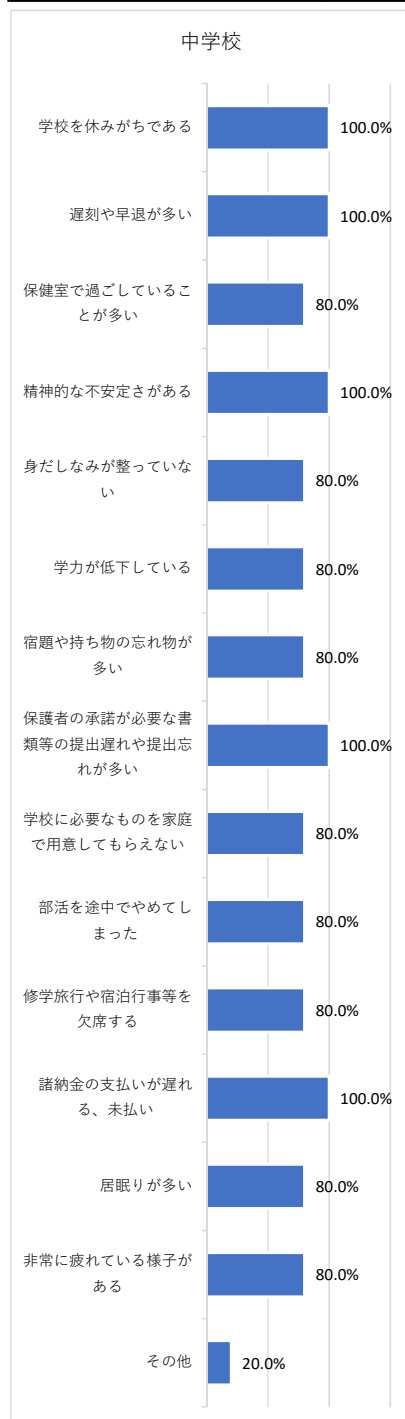


問5 下記のような状態の子どもについて、校内で情報を共有しているケースはありますか。

(あてはまる番号すべてを選択)

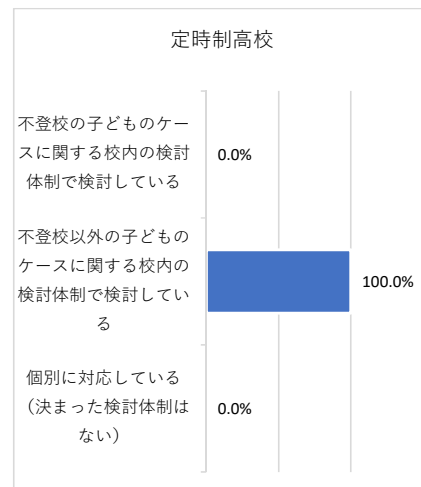
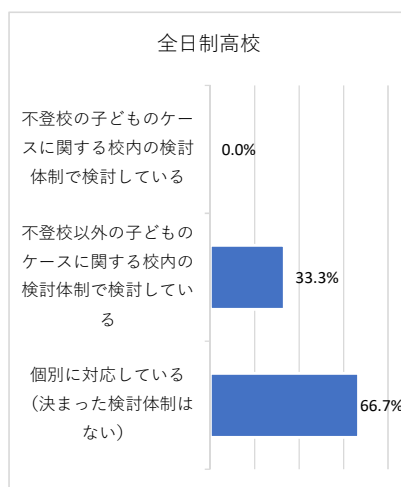
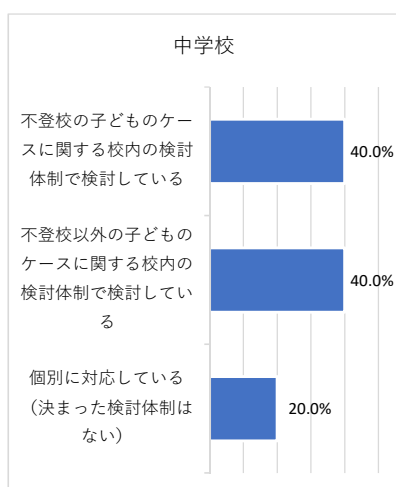
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
学校を休みがちである	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	9	100.0%
遅刻や早退が多い	5	100.0%	2	66.7%	1	100.0%	8	88.9%
保健室で過ごしていることが多い	4	80.0%	2	66.7%	1	100.0%	7	77.8%
精神的な不安定さがある	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	9	100.0%
身だしなみが整っていない	4	80.0%	2	66.7%	1	100.0%	7	77.8%
学力が低下している	4	80.0%	2	66.7%	1	100.0%	7	77.8%
宿題や持ち物の忘れ物が多い	4	80.0%	2	66.7%	0	0.0%	6	66.7%
保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	5	100.0%	1	33.3%	1	100.0%	7	77.8%
学校に必要なものを家庭で用意してもらえない	4	80.0%	1	33.3%	0	0.0%	5	55.6%
部活を途中でやめてしまった	4	80.0%	2	66.7%	1	100.0%	7	77.8%

修学旅行や宿泊行事 等を欠席する	4	80.0%	2	66.7%	1	100.0%	7	77.8%
諸納金の支払いが遅 れる、未払い	5	100.0%	2	66.7%	1	100.0%	8	88.9%
居眠りが多い	4	80.0%	2	66.7%	1	100.0%	7	77.8%
非常に疲れている様 子がある	4	80.0%	2	66.7%	0	0.0%	6	66.7%
その他	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%
n	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	9	100.0%



問6 問5のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。最も多いケースでご回答ください。（あてはまる番号1つを選択）

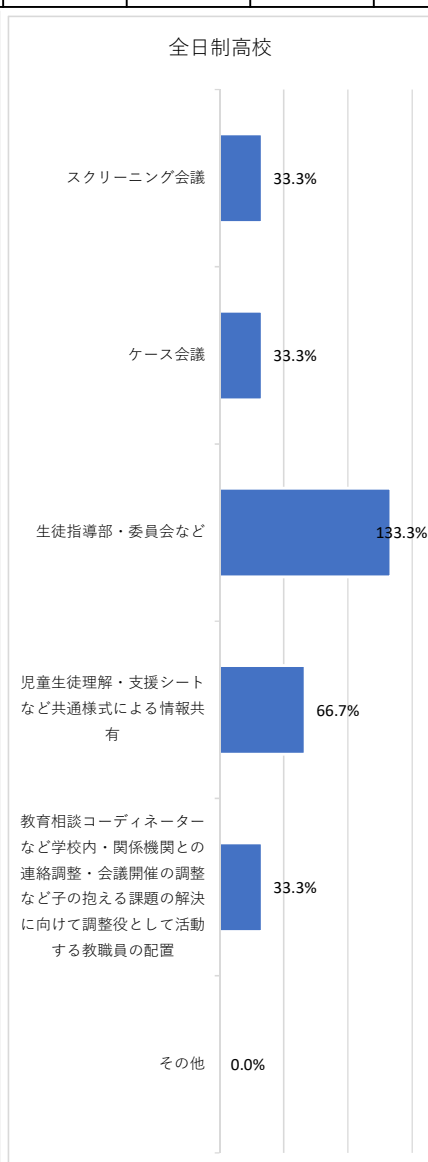
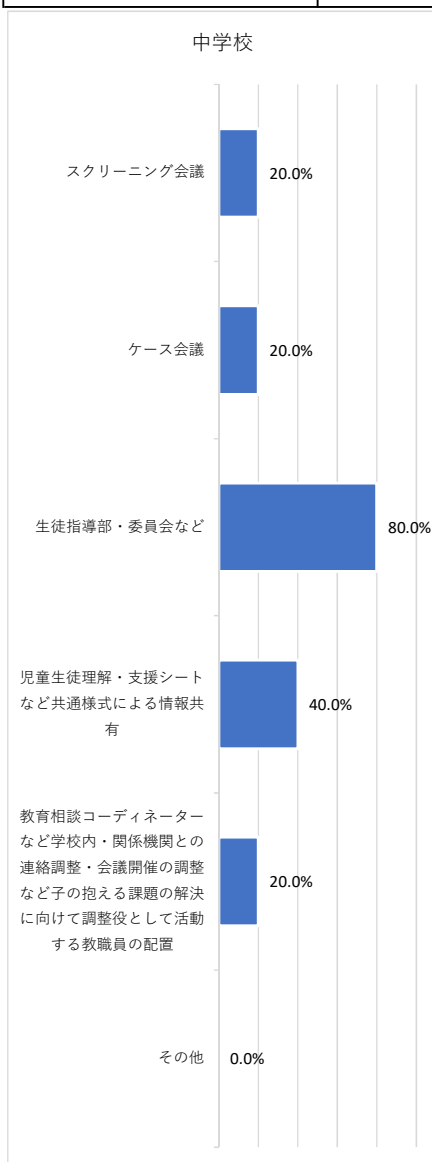
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%
不登校以外の子どもに関する校内の検討体制で検討している	2	40.0%	1	33.3%	1	100.0%	4	44.4%
個別に対応している	1	20.0%	2	66.7%	0	0.0%	3	33.3%
総計	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	9	100.0%



問7 問6で「1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、又は「2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した方にお伺いします。校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。

(1) 情報共有・対応の検討の方法等 (あてはまる番号すべてを選択)

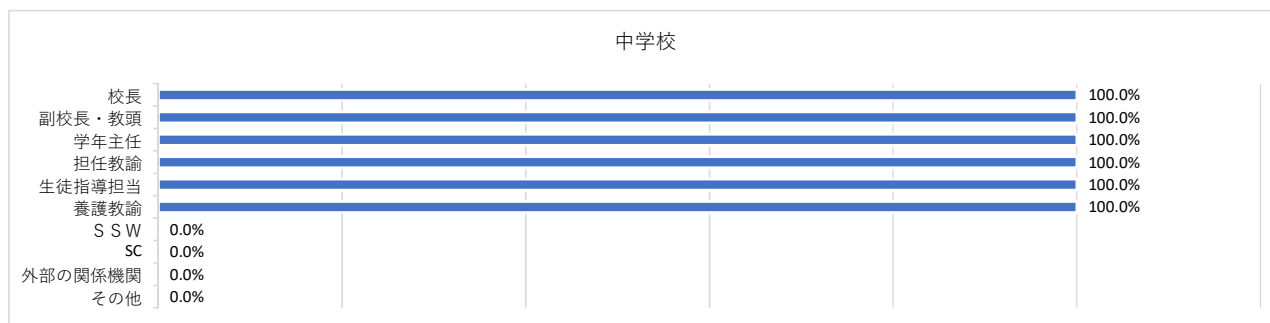
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
スクリーニング会議	1	20.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	22.2%
ケース会議	1	20.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	22.2%
生徒指導部・委員会など	4	80.0%	4	133.3%	0	0.0%	8	88.9%
児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有	2	40.0%	2	66.7%	0	0.0%	4	44.4%
教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など子の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置	1	20.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	22.2%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	11.1%
n	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	9	100.0%



「1.スクリーニング会議」、「2.ケース会議」、「3.生徒指導部・委員会など」、「6.その他」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。また、会議の開催頻度はどれくらいですか（あてはまる欄に番号を選択）

「1.スクリーニング会議」参加者

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
校長	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
副校長・教頭	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
学年主任	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
担任教諭	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
生徒指導担当	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
養護教諭	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
S S W	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
SC	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
外部の関係機関	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
n	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%



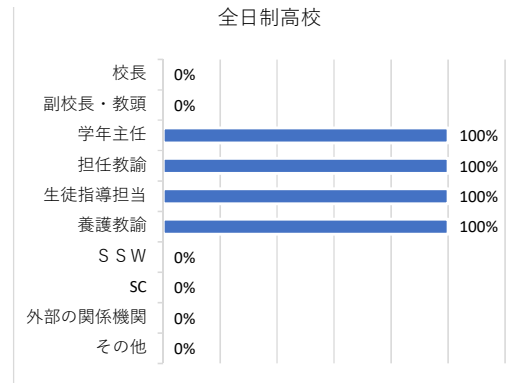
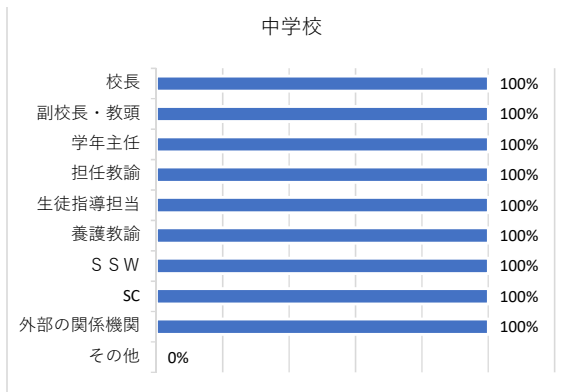
「1.スクリーニング会議」頻度

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2週間に1回以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
月に1回程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
半年に1回程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
年に1回程度	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
必要な時に随時開催	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%



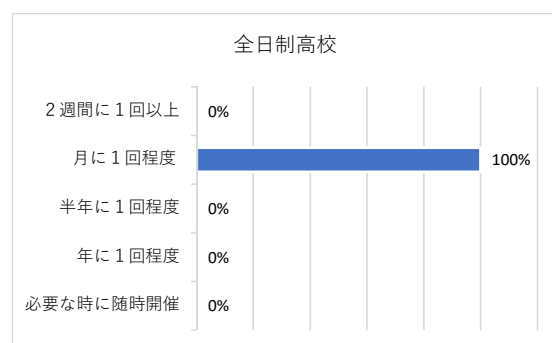
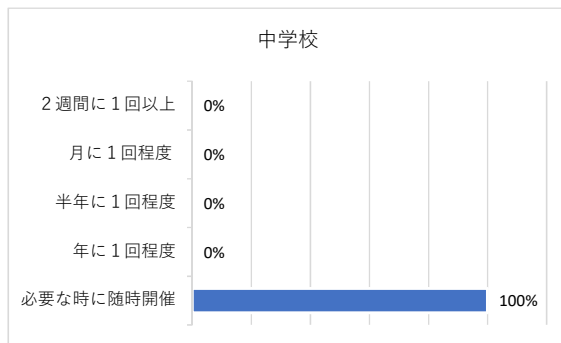
「2.ケース会議」参加者

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
校長	1	100%	0	0%	0	0%	1	50%
副校長・教頭	1	100%	0	0%	0	0%	1	50%
学年主任	1	100%	1	100%	0	0%	2	100%
担任教諭	1	100%	1	100%	0	0%	2	100%
生徒指導担当	1	100%	1	100%	0	0%	2	100%
養護教諭	1	100%	1	100%	0	0%	2	100%
S S W	1	100%	0	0%	0	0%	1	50%
SC	1	100%	0	0%	0	0%	1	50%
外部の関係機関	1	100%	0	0%	0	0%	1	50%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	1	100%	0	0%	2	100%



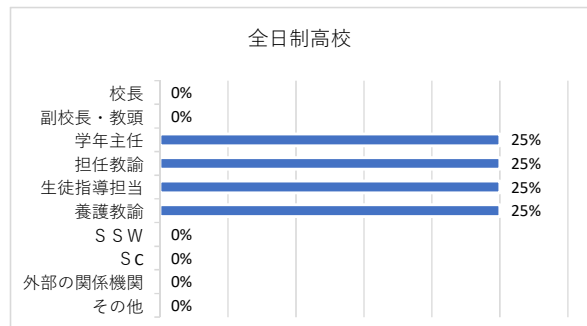
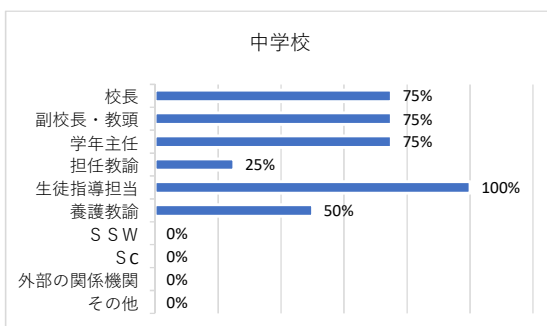
「2.ケース会議」頻度

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
2週間に1回以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
月に1回程度	0	0%	1	100%	0	0%	1	50%
半年に1回程度	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
年に1回程度	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
必要な時に随時開催	1	100%	0	0%	0	0%	1	50%
総計	1	100%	1	100%	0	0%	2	100%



「3.生徒指導部・委員会など」参加者

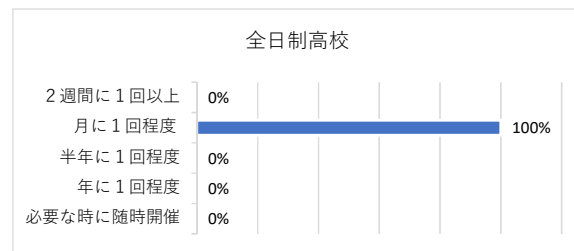
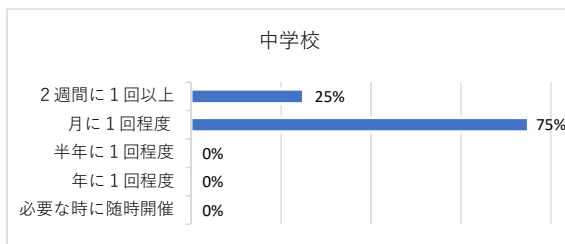
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
校長	3	75%	0	0%	0	0%	3	38%
副校長・教頭	3	75%	0	0%	0	0%	3	38%
学年主任	3	75%	1	25%	0	0%	4	50%
担任教諭	1	25%	1	25%	0	0%	2	25%
生徒指導担当	4	100%	1	25%	0	0%	5	63%
養護教諭	2	50%	1	25%	0	0%	3	38%
S S W	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
SC	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
外部の関係機関	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	4	100%	4	100%	0	0%	8	100%



「3.生徒指導部・委員会など」頻度

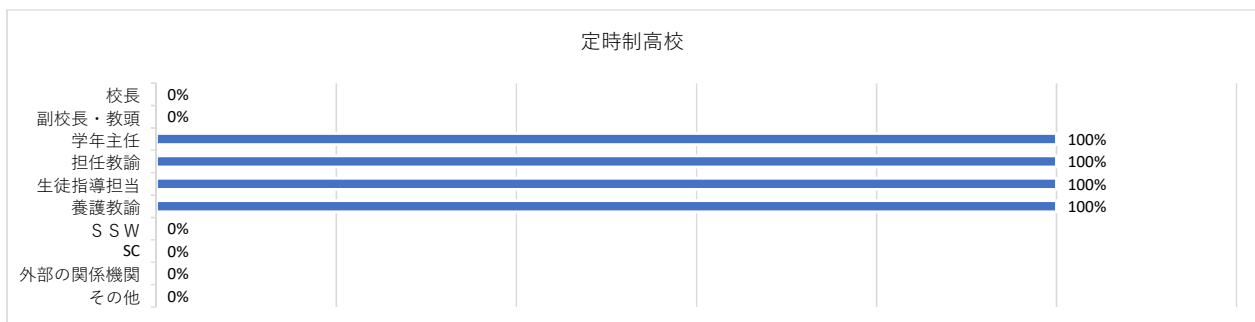
	中学校	全日制高校	定時制高校	総計
--	-----	-------	-------	----

2週間に1回以上	1	25%	0	0%	0	0%	1	20%
月に1回程度	3	75%	1	100%	0	0%	4	80%
半年に1回程度	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
年に1回程度	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
必要な時に随時開催	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
総計	4	100%	1	100%	0	0%	5	100%



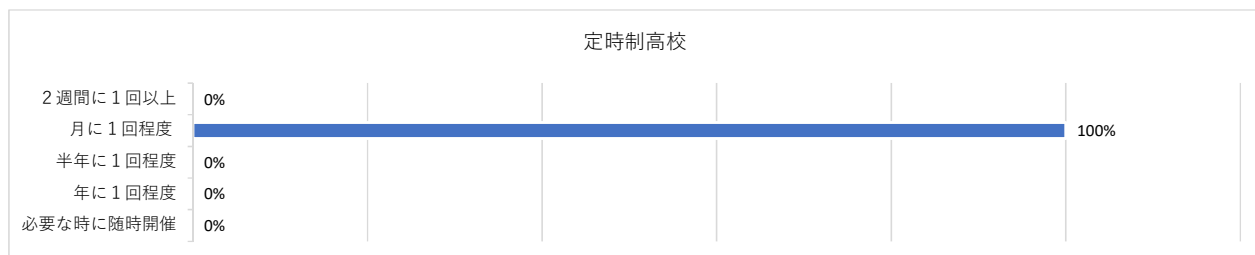
「6. その他」参加者

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
校長	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
副校長・教頭	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
学年主任	0	0%	0	0%	1	100%	1	100%
担任教諭	0	0%	0	0%	1	100%	1	100%
生徒指導担当	0	0%	0	0%	1	100%	1	100%
養護教諭	0	0%	0	0%	1	100%	1	100%
S S W	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
SC	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
外部の関係機関	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	0	0%	0	0%	1	100%	1	100%



「6. その他」頻度

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
2週間に1回以上		0%		0%	0	0%	0	0%
月に1回程度		0%		0%	1	100%	1	100%
半年に1回程度		0%		0%	0	0%	0	0%
年に1回程度		0%		0%	0	0%	0	0%
必要な時に随時開催		0%		0%	0	0%	0	0%
総計		0%		0%	1	100%	1	100%



問8 問6で「3. 個別に対応している」と回答した方にお伺いします。問5のケースについて、貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。関わる教職員、情報共有や検討の方法、頻度等について、具体的にお教えてください。

中学校

毎月実施している学年部会で生徒の様子を情報交流し、必要に応じて職員会議やケース会議を開催する。

全日制高校

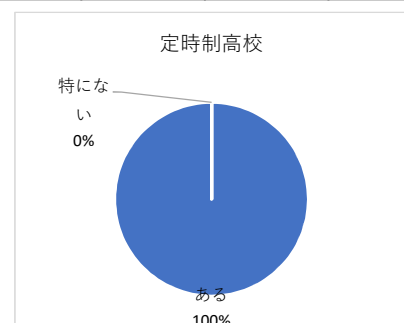
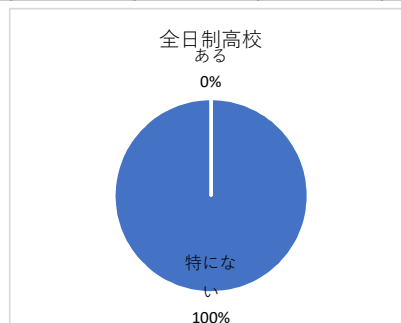
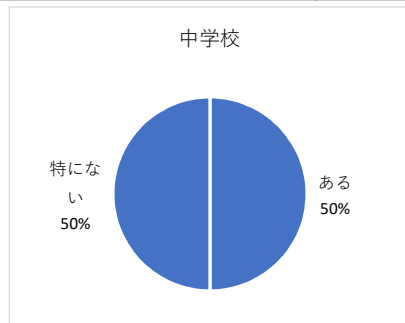
ヤングケアラーに該当する生徒がいる場合、担当教諭よりその情報が教育相談部に寄せられ、教育相談部内でその情報を共有することになっている。

本人との面談、家庭への連絡、保護者来校依頼ののち面談、家庭訪問による対応（担任、学年主任、養護教諭、指導部長、教進部長との情報共有を日常的に行い上記の対応を検討している。その過程はすべて教頭から校長へ報告されている）※事例はないがSSW、SCの派遣も考慮されている。

問9 問5のケースについて、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。それぞれのケースについて、お答えください。また、連携体制がある場合は、連携する関係機関を選択肢からお選びください。

(1) 要保護児童ネットワーク協議会の登録ケース <体制>

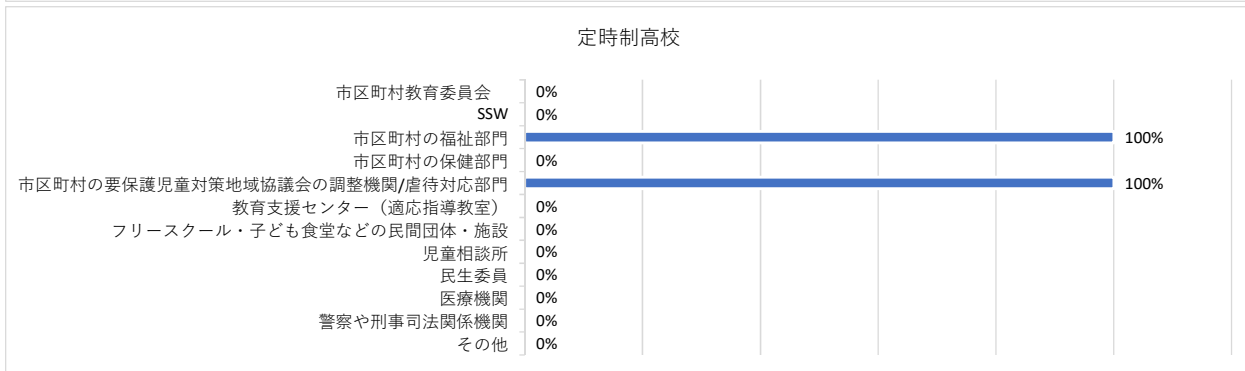
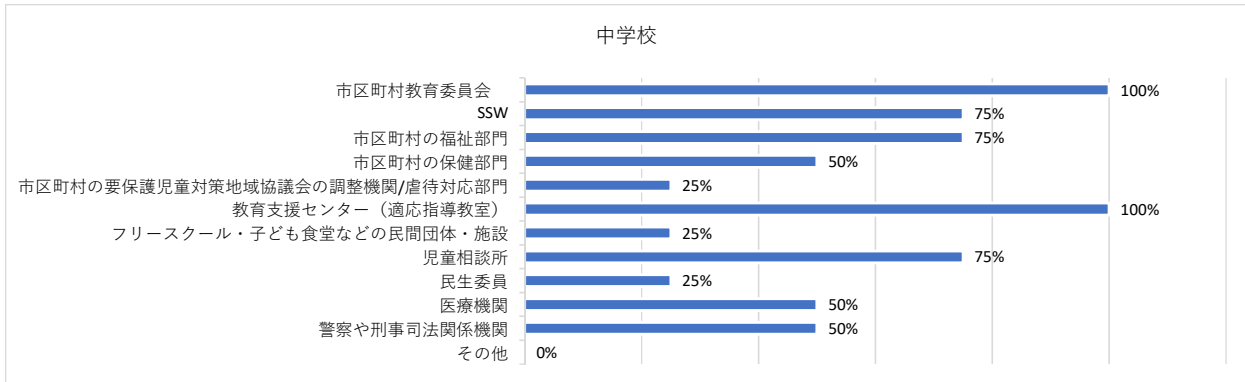
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
ある	2	50%	0	0%	1	100%	3	43%
特にな	2	50%	2	100%	0	0%	4	57%
総計	4	100%	2	100%	1	100%	7	100%



(1) 要保護児童ネットワーク協議会の登録ケース <連携する関係機関>

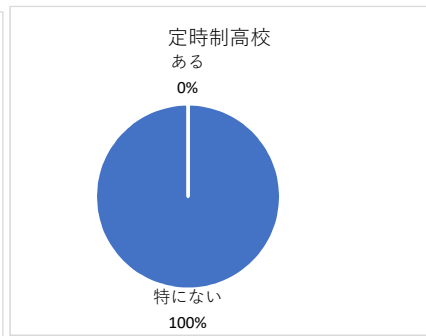
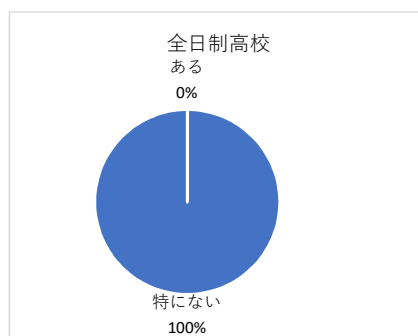
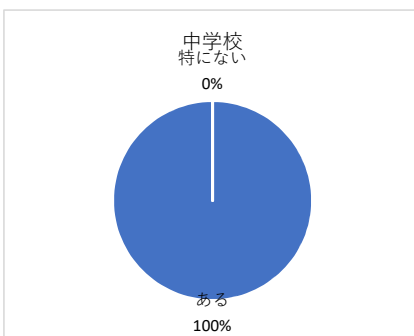
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
市区町村教育委員会	4	100%	0	0%	0	0%	4	80%
SSW	3	75%	0	0%	0	0%	3	60%
市区町村の福祉部門	3	75%	0	0%	1	100%	4	80%
市区町村の保健部門	2	50%	0	0%	0	0%	2	40%
市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門	1	25%	0	0%	1	100%	2	40%
教育支援センター(適応指導教室)	4	100%	0	0%	0	0%	4	80%
フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	1	25%	0	0%	0	0%	1	20%

児童相談所	3	75%	0	0%	0	0%	3	60%
民生委員	1	25%	0	0%	0	0%	1	20%
医療機関	2	50%	0	0%	0	0%	2	40%
警察や刑事司法関係 機関	2	50%	0	0%	0	0%	2	40%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	4	100%	0	0%	1	100%	5	100%



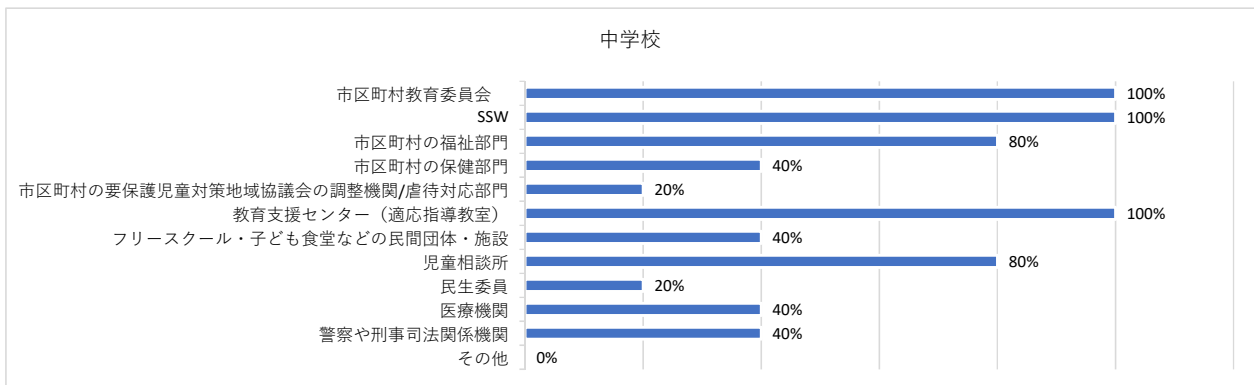
(2) 不登校のケースの登録ケース <体制>

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
ある	4	100%	0	0%	0	0%	5	56%
特にない	0	0%	2	100%	1	100%	4	44%
総計	4	100%	2	100%	1	100%	9	100%



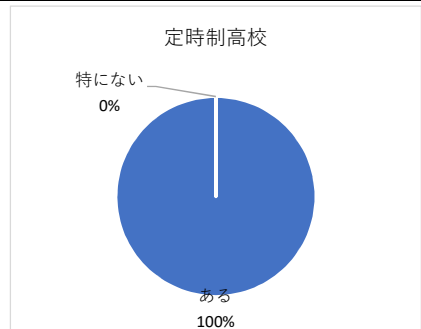
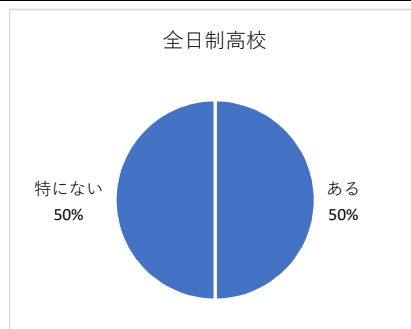
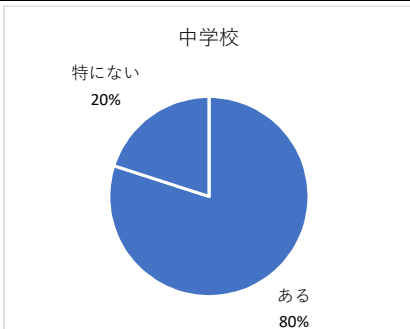
(2) 不登校のケースの登録ケース <連携する関係機関>

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
市区町村教育委員会	5	100%	0	0%	0	0%	5	100%
SSW	5	100%	0	0%	0	0%	5	100%
市区町村の福祉部門	4	80%	0	0%	0	0%	4	80%
市区町村の保健部門	2	40%	0	0%	0	0%	2	40%
市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門	1	20%	0	0%	0	0%	1	20%
教育支援センター (適応指導教室)	5	100%	0	0%	0	0%	5	100%
フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	2	40%	0	0%	0	0%	2	40%
児童相談所	4	80%	0	0%	0	0%	4	80%
民生委員	1	20%	0	0%	0	0%	1	20%
医療機関	2	40%	0	0%	0	0%	2	40%
警察や刑事司法関係機関	2	40%	0	0%	0	0%	2	40%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	5	100%	0	0%	0	0%	5	100%



(3) それ以外 <体制>

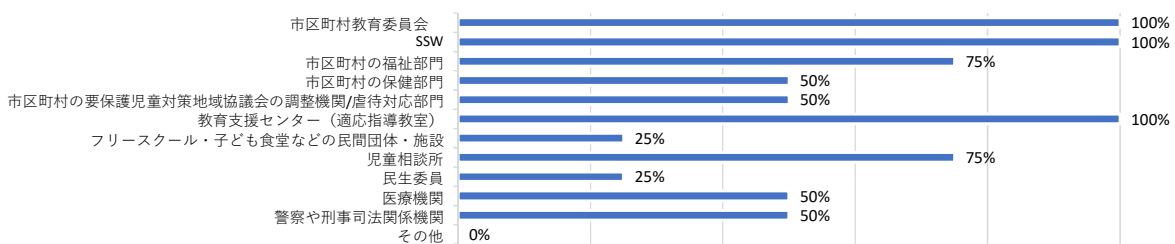
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ある	4	80%	1	50%	1	100%	6	75%
特にない	1	20%	1	50%	0	0%	2	25%
総計	5	100%	2	100%	1	100%	8	100%



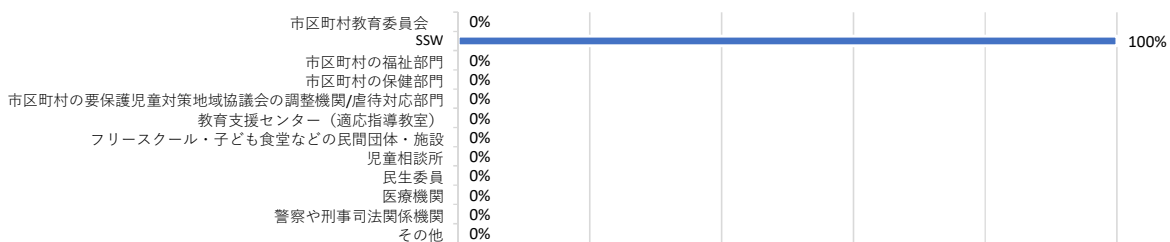
(3)それ以外 <連携する関係機関>

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
市区町村教育委員会	4	100%	0	0%	0	0%	4	67%
SSW	4	100%	1	100%	0	0%	5	83%
市区町村の福祉部門	3	75%	0	0%	1	100%	4	67%
市区町村の保健部門	2	50%	0	0%	0	0%	2	33%
市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門	2	50%	0	0%	1	100%	3	50%
教育支援センター(適応指導教室)	4	100%	0	0%	0	0%	4	67%
フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	1	25%	0	0%	0	0%	1	17%
児童相談所	3	75%	0	0%	0	0%	3	50%
民生委員	1	25%	0	0%	0	0%	1	17%
医療機関	2	50%	0	0%	0	0%	2	33%
警察や刑事司法関係機関	2	50%	0	0%	0	0%	2	33%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	4	100%	1	100%	1	100%	6	100%

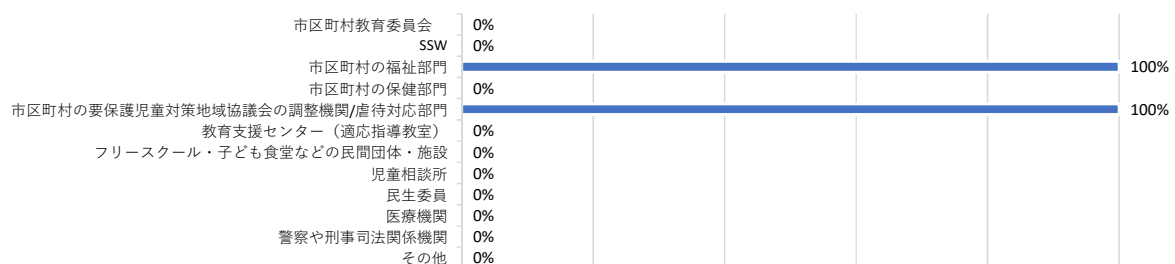
中学校



全日制高校



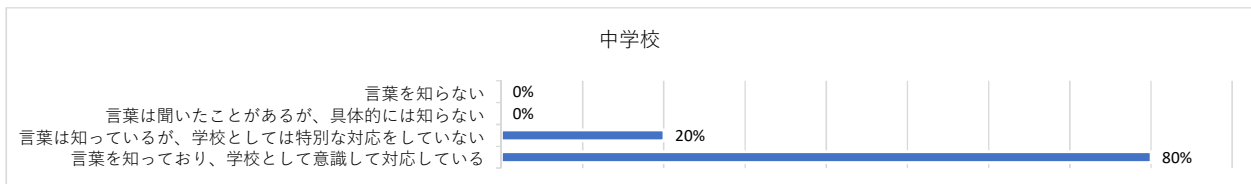
定時制高校



C. ヤングケアラーについてお伺いします。

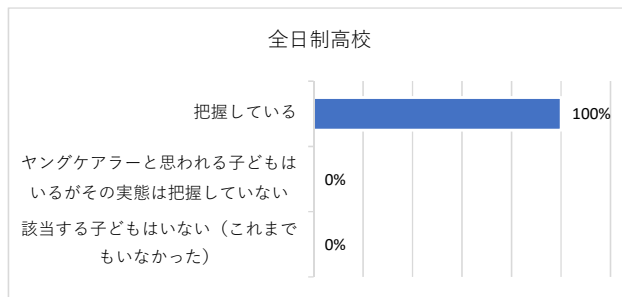
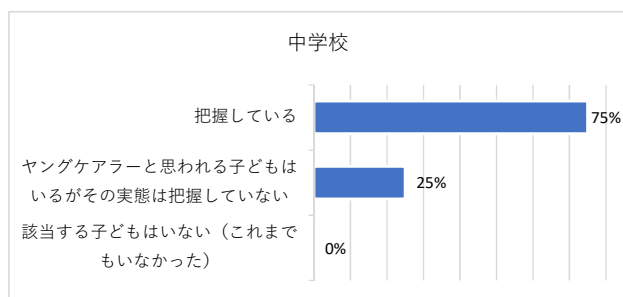
問10 貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。（あてはまる番号1つを選択）

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
言葉を知らない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない	1	20%	2	100%	1	100%	4	50%
言葉を知っており、学校として意識して対応している	4	80%	1	50%	0	0%	5	63%
総計	5	100%	2	100%	1	100%	8	100%



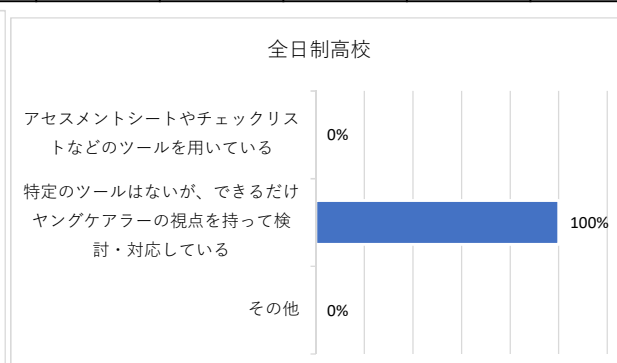
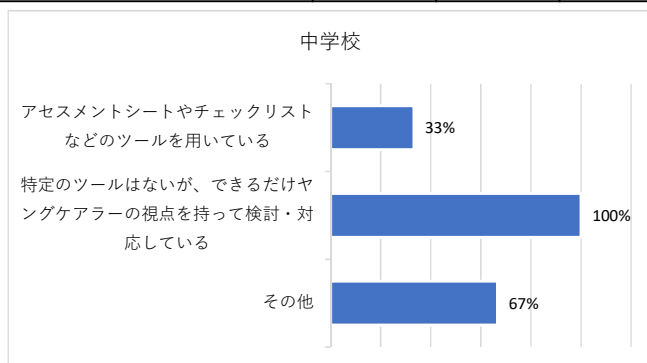
問11 問10で「4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した方にお伺いします。「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。（あてはまる番号1つを選択）

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
把握している	3	75%	1	100%	0	0%	4	80%
ヤングケアラーと思われる子どもはいるがその実態は把握していない	1	25%	0	0%	0	0%	1	20%
該当する子どもはいる（これまでいなかった）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
総計	4	100%	1	100%	0	0%	5	100%



問12 問11で「1. 把握している」と回答した方にお伺いします。「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。（あてはまる番号すべてを選択）

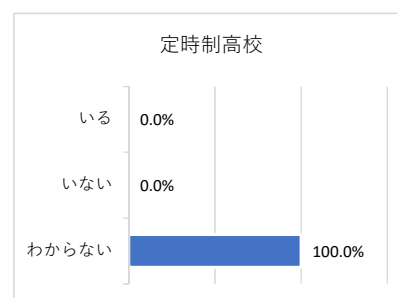
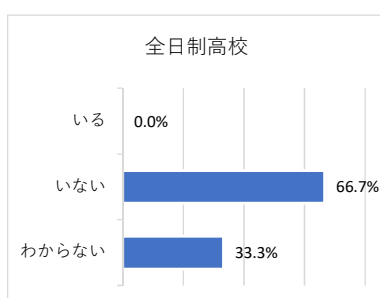
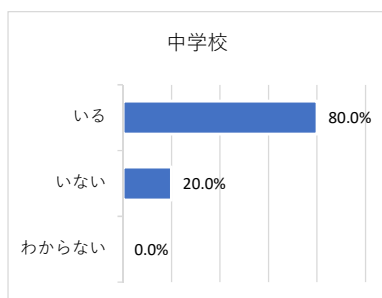
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている	1	33%	0	0%	0	0%	1	25%
特定のツールはないが、できるだけヤングケアラーの視点を持って検討・対応している	3	100%	1	100%	0	0%	4	100%
その他	2	67%	0	0%	0	0%	2	50%
n	3	100%	1	100%	0	0%	4	100%



問13 ヤングケアラーを把握していない方も含め、全員にお伺いします

ヤングケアラーの定義を踏まえて、現在、貴校にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいますか。（あてはまる番号1つを選択）

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
いる	4	80.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	44.4%
いない	1	20.0%	2	66.7%	0	0.0%	3	33.3%
わからない	0	0.0%	1	33.3%	1	100.0%	2	22.2%
総計	5	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	9	100.0%

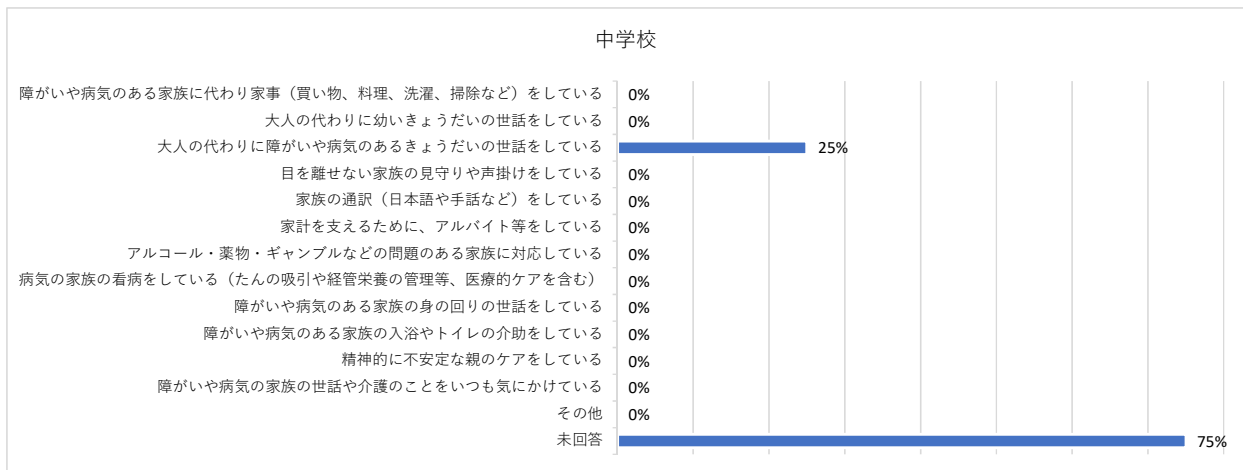


問14 問13で「1. いる」と回答した方にお伺いします。

(1) ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。（あてはまる番号すべてを選択）

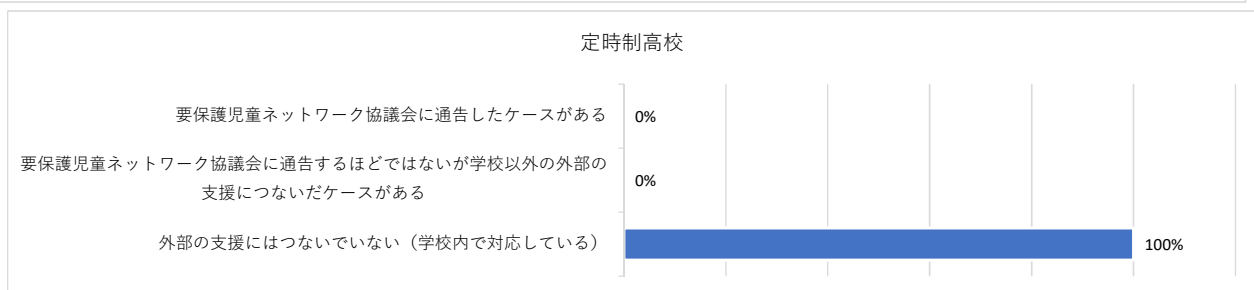
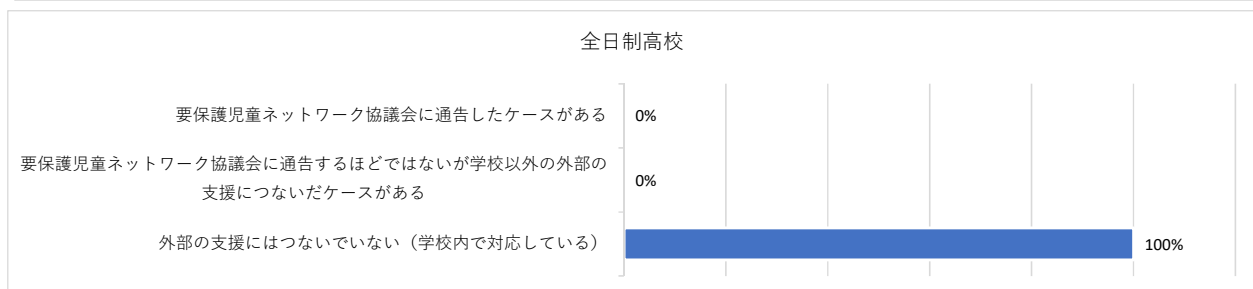
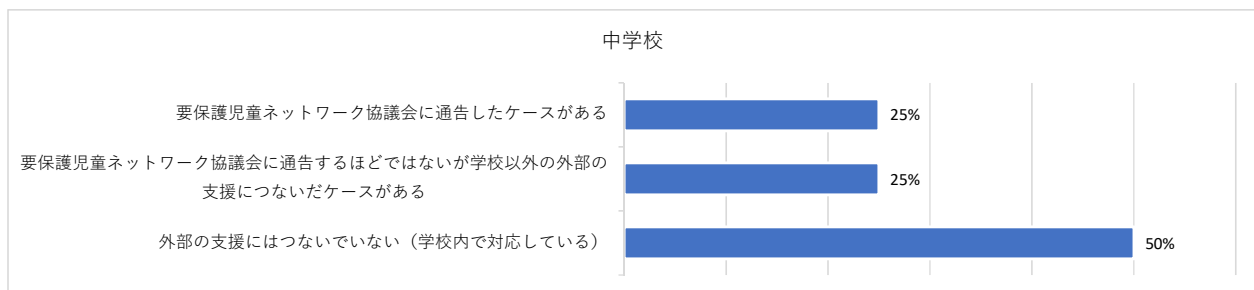
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
障がいや病気のある家族に代わり家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
大人の代わりに幼いきょうだいの世話をしている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
大人の代わりに障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている	1	25%	0	0%	0	0%	1	25%
目を離せない家族の見守りや声掛けをしている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
家族の通訳（日本語や手話など）をしている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
家計を支えるために、アルバイト等をしている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
病気の家族の看病をしている (たんの吸引や経管栄養の管理等、医療的ケアを含む)	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
精神的に不安定な親のケアをしている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
障がいや病気の家族の世話や介護のことをいつも気にかけている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
未回答	3	75%	0	0%	0	0%	3	75%
n	4	100%	0	0%	0	0%	4	100%



(2) ヤングケアラーと思われる子どもについて、具体的に学校以外の外部（教育委員会、役所、要保護児童ネットワーク協議会など）の支援につないだケースはありますか。（あてはまる番号すべてを選択）

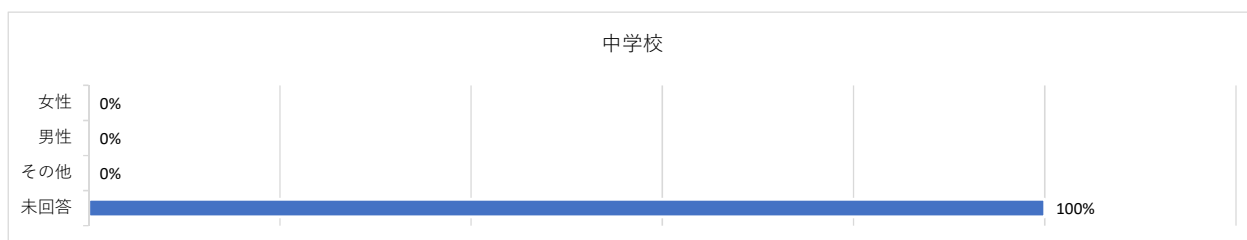
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	1	25%	0	0%	0	0%	1	17%
要保護児童ネットワーク協議会に通告したケースがある	1	25%	0	0%	0	0%	1	17%
要保護児童ネットワーク協議会に通告するほどではないが学校以外の外部の支援につないだケースがある	1	25%	0	0%	0	0%	1	17%
外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）	2	50%	1	100%	1	100%	4	67%
n	4	100%	1	100%	1	100%	6	100%



(3) (2)で「1. 要保護児童ネットワーク協議会に通告したケースがある」、又は「2. 要保護児童ネットワーク協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」と回答した方にお伺いします。それぞれの該当する直近のケースについて、1件ずつ（複数の場合は任意）お教えてください。

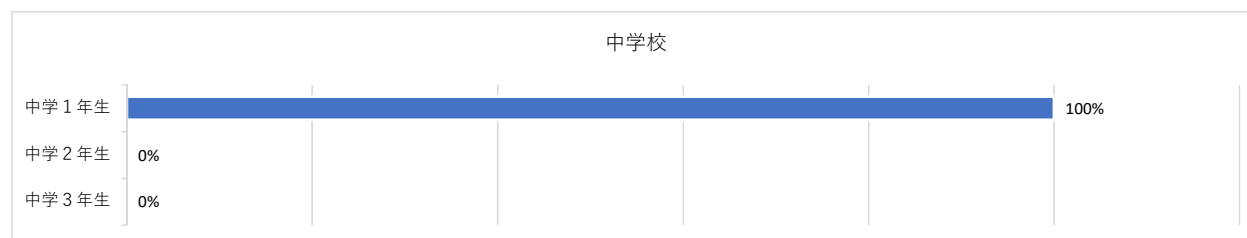
**1. 要保護児童ネットワーク協議会に通告したケース
性別**

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
女性	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
男性	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
未回答	2	100%	0	0%	0	0%	2	100%
総計	2	100%	0	0%	0	0%	2	100%



学年

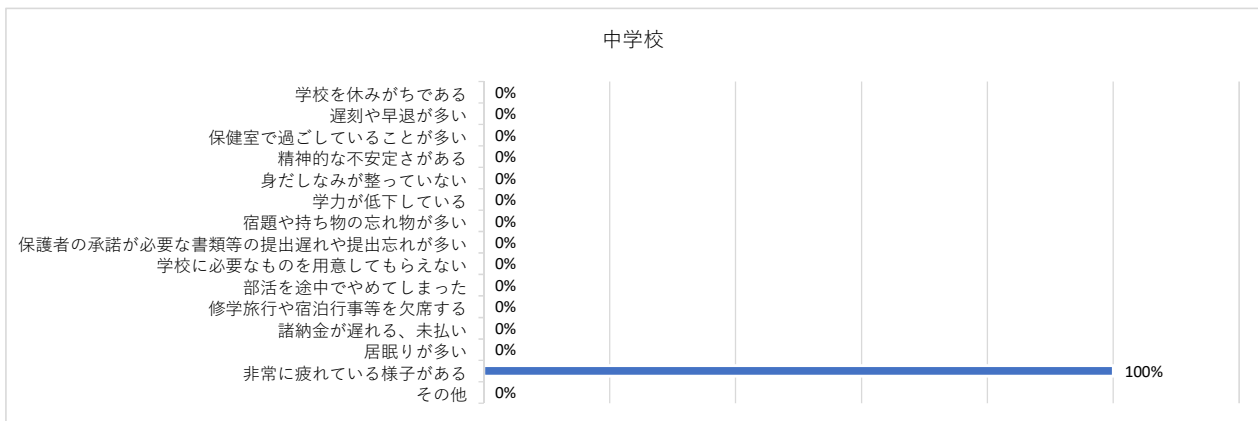
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
中学1年生	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
中学2年生	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
中学3年生	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
総計	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



学校生活の状況（あてはまる番号すべてを選択）

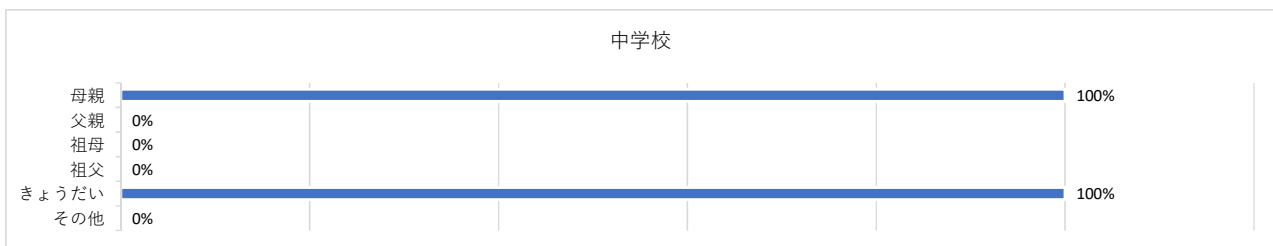
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
学校を休みがちである	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
遅刻や早退が多い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
保健室で過ごしていることが多い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
精神的な不安定さがある	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身だしなみが整っていない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
学力が低下している	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
宿題や持ち物の忘れ物が多い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

学校に必要なものを用意してもらえない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
部活を途中でやめてしまった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
修学旅行や宿泊行事等を欠席する	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
諸納金が遅れる、未払い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
居眠りが多い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
非常に疲れている様子がある	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



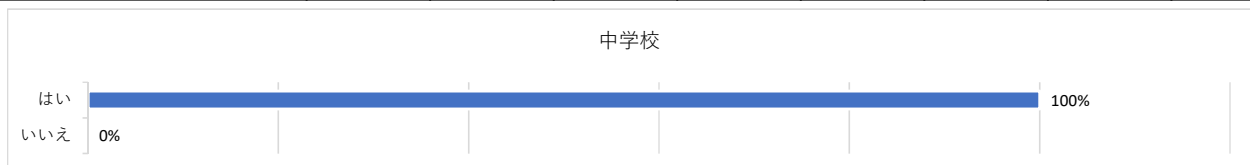
家族構成

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
母親	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
父親	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
祖母	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
祖父	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きょうだい	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



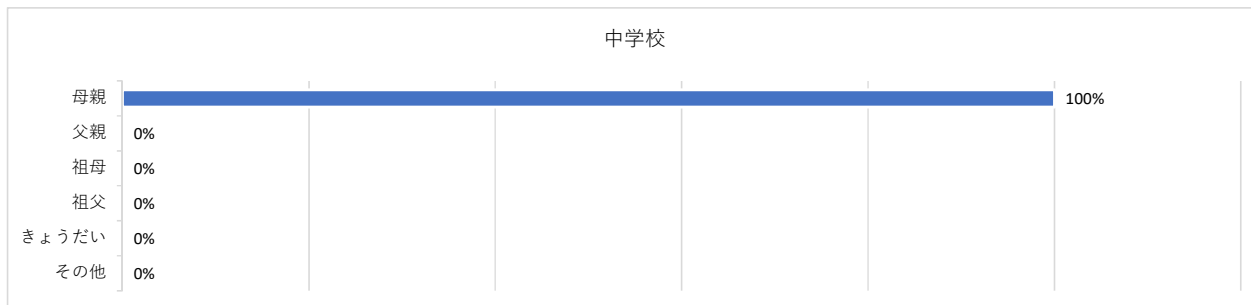
家庭でのケアの状況を把握しているか

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
はい	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
いいえ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
総計	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



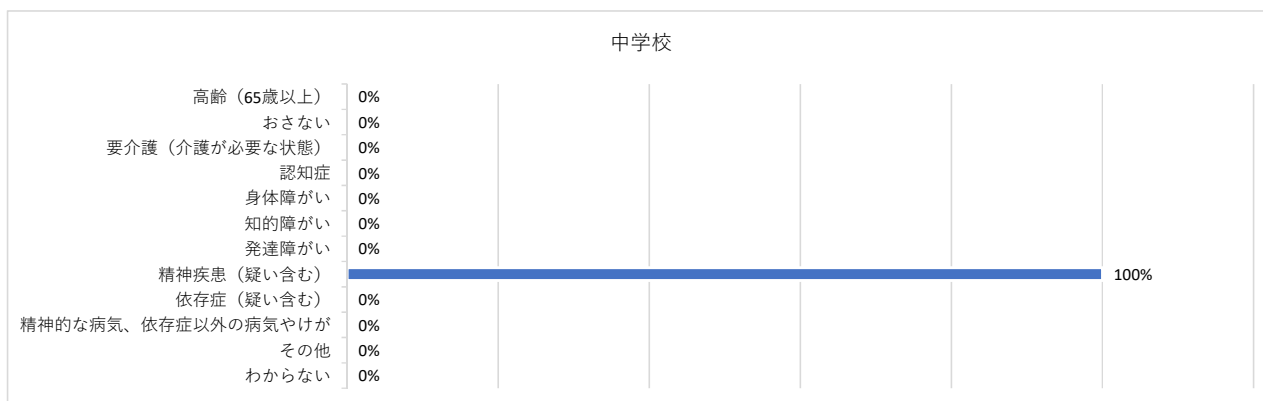
「はい」の場合、ケアを必要としている人

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
母親	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
父親	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
祖母	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
祖父	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きょうだい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



ケアを必要としている人の状況

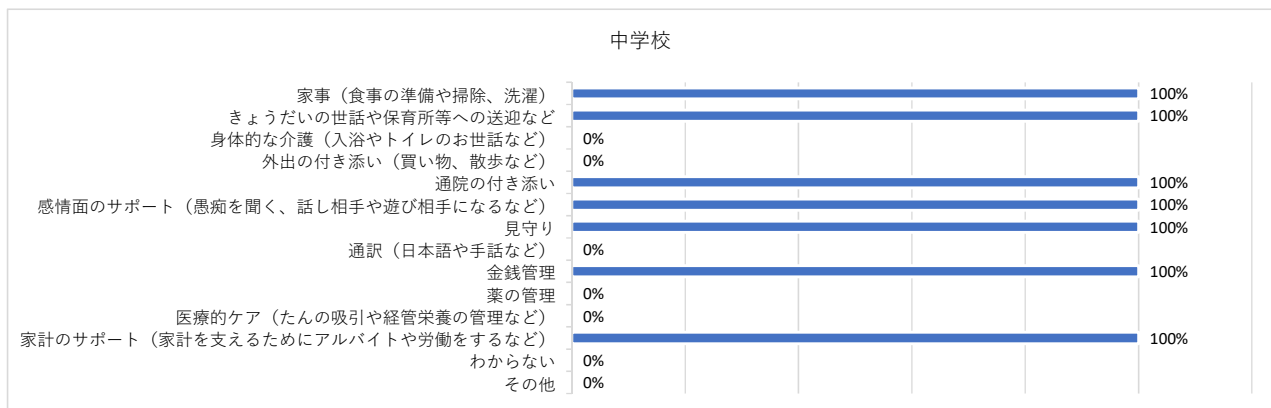
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
高齢（65歳以上）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
おさない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
要介護（介護が必要な状態）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
認知症	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体障がい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
知的障がい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
発達障がい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
精神疾患（疑い含む）	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
依存症（疑い含む）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
精神的な病気、依存症以外の病気やけが	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
わからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



ケアの内容

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
きょうだいの世話や保育所等への送迎など	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%

身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
外出の付き添い（買い物、散歩など）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
通院の付き添い	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手や遊び相手になるなど）	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
見守り	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
通訳（日本語や手話など）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
金銭管理	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
薬の管理	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど）	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
わからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%

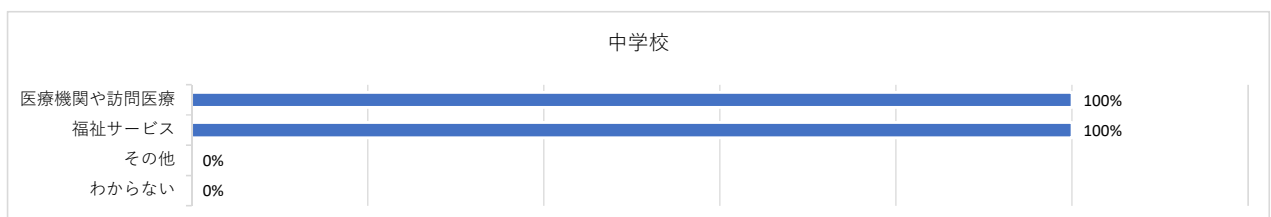


ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ 中学校

市の子ども家庭課からの連絡、小学校からの引継ぎ

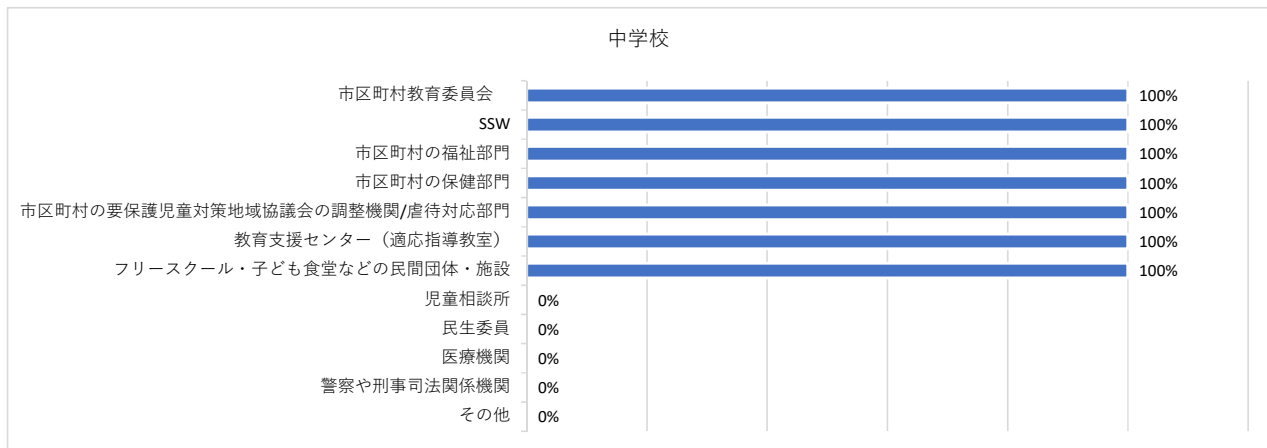
この世帯がどのような機関とつながっていたか

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
医療機関や訪問医療	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
福祉サービス	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
わからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



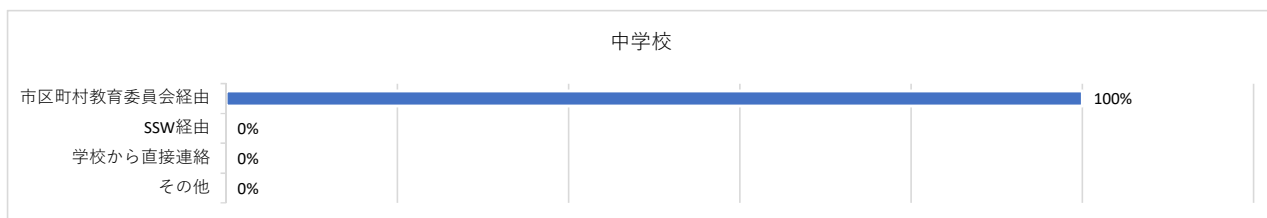
学校が直接連携した機関（つないだ機関）

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
市区町村教育委員会	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
SSW	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
市区町村の福祉部門	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
市区町村の保健部門	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
教育支援センター（適応指導教室）	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
児童相談所	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
民生委員	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
医療機関	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
警察や刑事司法関係機関	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



要保護児童対策地域協議会への通告ルート

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
市区町村教育委員会経由	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
SSW経由	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
学校から直接連絡	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
総計	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



学校で行った支援（要対協との連携も含めて）

中学校

対象生徒の学校生活の見守り、学習支援、保護者との丁寧な対話。

支援した結果、子どもの変化

中学校

学校生活の安定、担任との会話の増加。

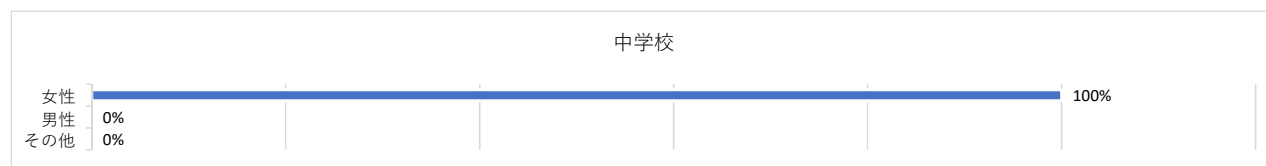
学校から見た支援の難しさ

中学校

生徒の学校生活以外の状況把握が難しい。特に、家庭内の状況については、市内各機関との情報共有が必要となり、それを踏まえた上で生徒の支援にあたりたい。

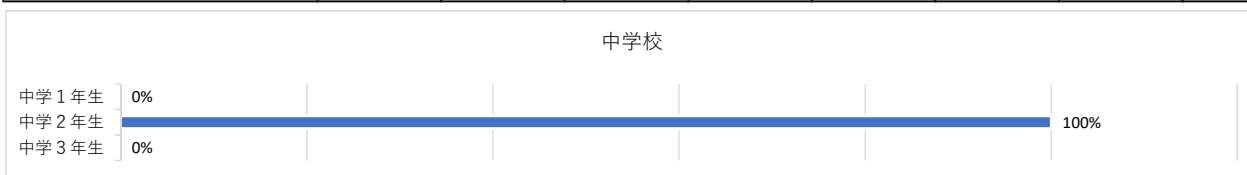
2. 要保護児童ネットワーク協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケース

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
女性	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
男性	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
総計	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



学年

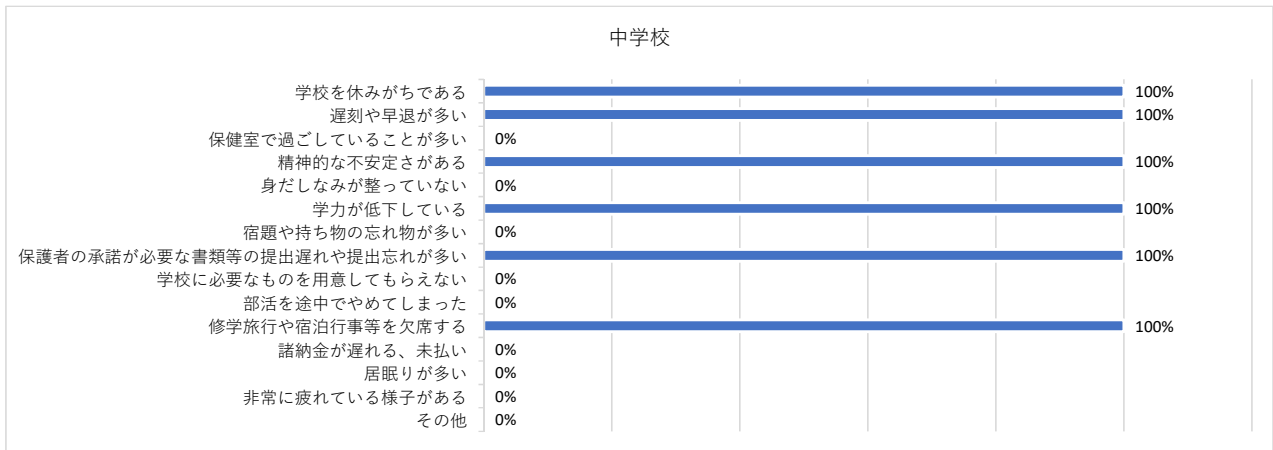
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
中学1年生	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
中学2年生	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
中学3年生	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
総計	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



学校生活の状況

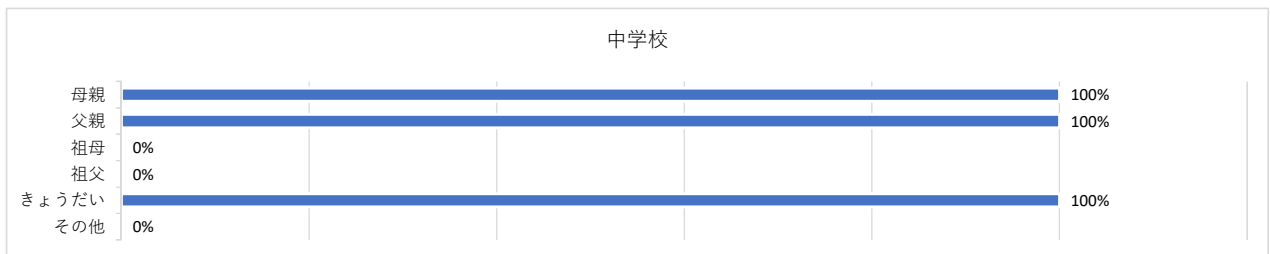
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
学校を休みがちである	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
遅刻や早退が多い	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
保健室で過ごしていることが多い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
精神的な不安定さがある	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
身だしなみが整っていない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
学力が低下している	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
宿題や持ち物の忘れ物が多い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
学校に必要なものを用意してもらえない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
部活を途中でやめてしまった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
修学旅行や宿泊行事等を欠席する	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
諸納金が遅れる、未払い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
居眠りが多い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
非常に疲れている様子がある	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



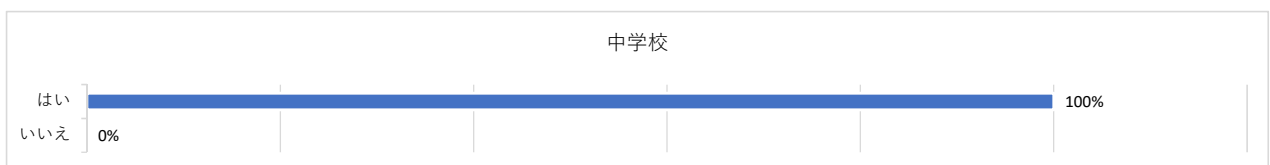
家族構成

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
母親	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
父親	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
祖母	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
祖父	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きょうだい	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



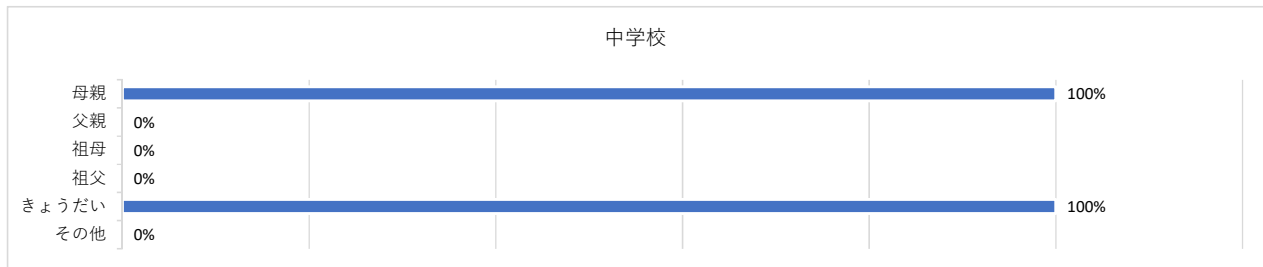
家庭でのケアの状況を把握しているか

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
はい	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
いいえ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
総計	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



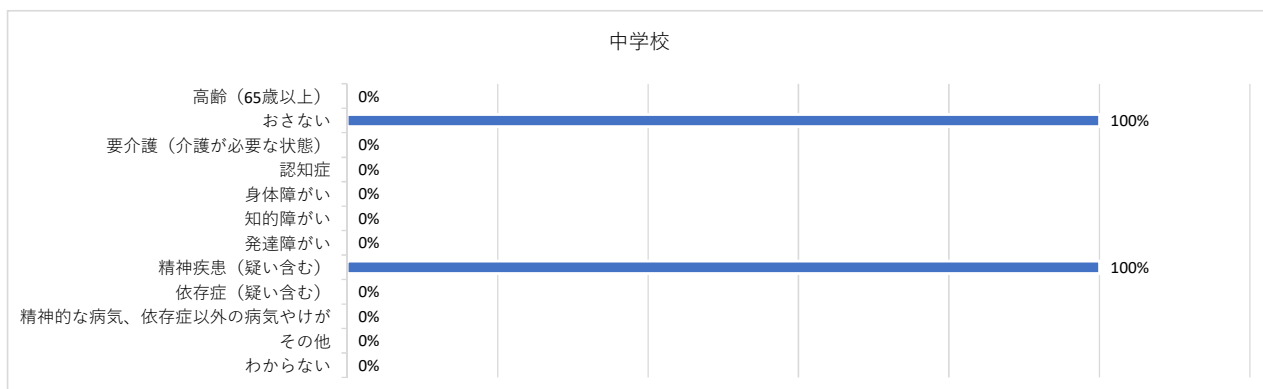
a) ケアを必要としている人

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
母親	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
父親	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
祖母	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
祖父	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きょうだい	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



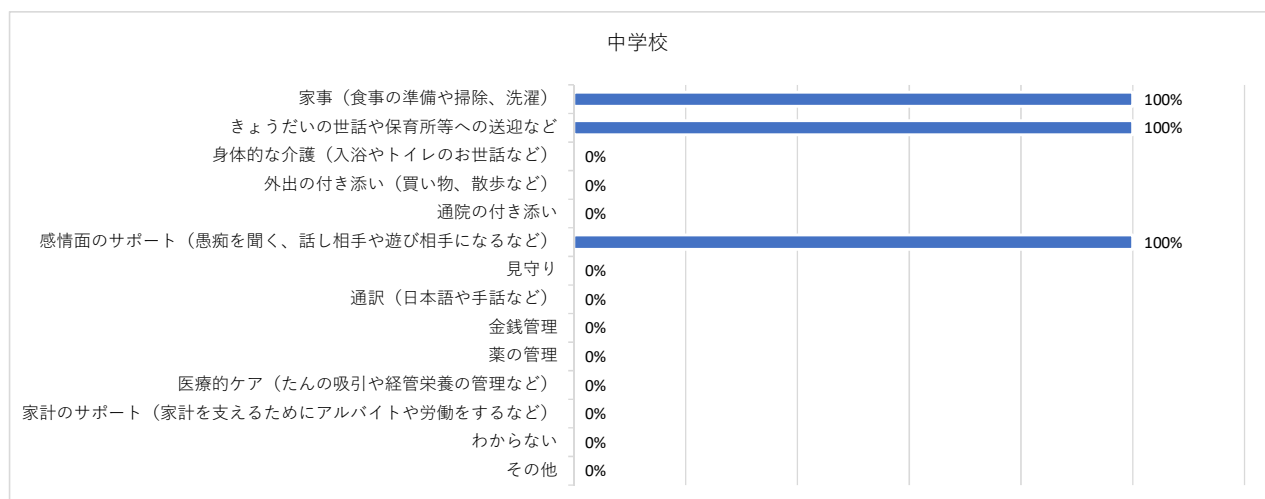
b) ケアを必要としている人の状況

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
高齢（65歳以上）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
おさない	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
要介護（介護が必要な状態）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
認知症	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
身体障がい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
知的障がい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
発達障がい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
精神疾患（疑い含む）	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
依存症（疑い含む）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
精神的な病気、依存症以外の病気やけが	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
わからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



c) ケアの内容

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
きょうだいの世話や保育所等への送迎など	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
外出の付き添い（買い物、散歩など）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
通院の付き添い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手や遊び相手になるなど）	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
見守り	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
通訳（日本語や手話など）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
金銭管理	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
薬の管理	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
医療的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
わからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



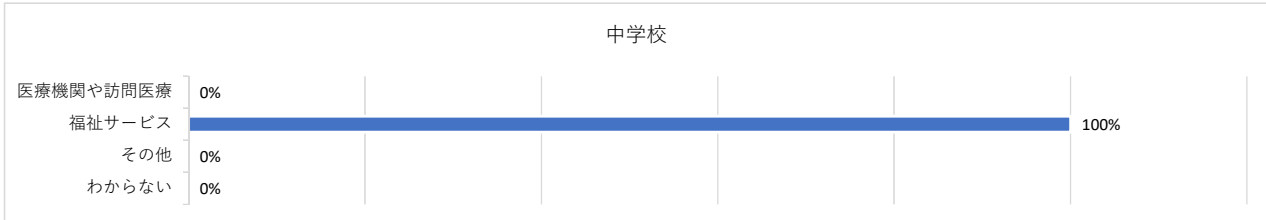
ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ

中学校

転入時の引継。家庭訪問時の家庭内の様子。本人・母親との面談や聞き取り。子ども家庭課や児童相談所とのケース会議。

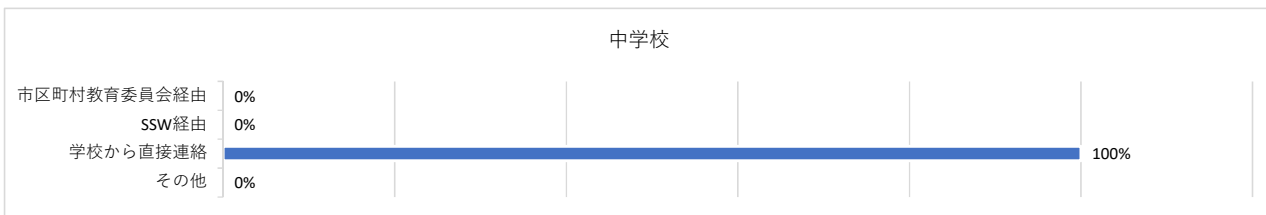
この世帯がどのような機関とつながっていたか

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
医療機関や訪問医療	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
福祉サービス	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
わからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



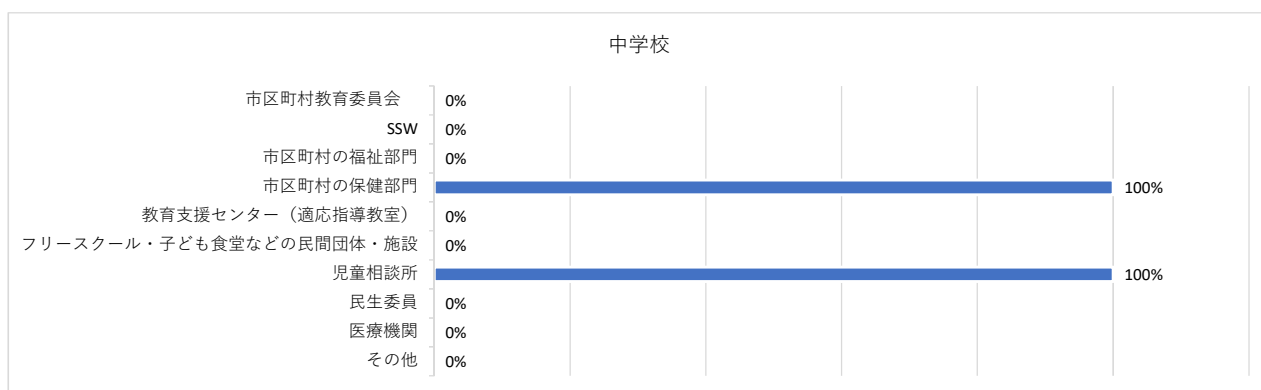
外部機関へのつながり方

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
市区町村教育委員会経由	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
SSW経由	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
学校から直接連絡	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
総計	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



学校が直接連携した機関（つないだ機関）

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
市区町村教育委員会	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
SSW	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
市区町村の福祉部門	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
市区町村の保健部門	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
教育支援センター（適応指導教室）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
児童相談所	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%
民生委員	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
医療機関	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	1	100%	0	0%	0	0%	1	100%



学校で行った支援（つなぎ先との連携も含めて）

中学校

ケース会議を実施する中で、本校の特別支援コーディネーターを中心に児童相談所との電話や対面での面談や協議を進めていった。

支援した結果、子どもの変化

中学校

不登校であったが、登校を再開している。修学旅行の参加も意欲を示している。母親が就職し、幼い兄弟が保育所に通園できるようになったことも関係し、登校につながった。

学校から見た支援の難しさ

中学校

家庭内の夫婦関係まで立ち入ることになるケースもあり、学校の介入が難しいときがある。

（４）（２）で「**３．外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）**」と回答した方にお伺いします。外部の支援につながらなかった理由を教えてください。また、どのように対応しているのかお教えてください。

ア 理由

中学校

支援というまでではないが、市子ども家庭課や兄弟の在籍する小学校とは連携をとり、情報共有は行っている。

定時制高校

家庭内のセンシティブな内容を伴うため学校としてヤングケアラーとしての実態調査は行っておらず、実態を正確に把握できていないことと、悩みや課題の解決において、学校（教員）の対応には限界があると思われるため。

イ 対応方法

中学校

60に同じ。（支援というまでではないが、市子ども家庭課や兄弟の在籍する小学校とは連携をとり、情報共有は行っている。）校内生徒指導委員会で随時交流し、対応を協議している。

定時制高校

生徒からの悩み相談に対して、既存の校内体制（生徒指導、教育相談）で対応している。

（５）ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること、気を付けていることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

中学校

本人の家庭での状況をできるだけ早く把握するために、市の福祉・保健関係機関と連携を早めにとること。

定例で実施する学年部会等での生徒交流。特に、生活の様子に変化のある生徒への組織的な対応を強化。

定時制高校

常に「ヤングケアラー」と思われる子どもが在籍生徒のなかにいるとの認識で業務にあたり、配慮を行っている。

（６）ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

中学校

「５９」と同様で、家族の状況を把握するのが難しい。（家庭内の夫婦関係まで立ち入ることになるケースもあり、学校の介入が難しいときがある。）

学校独自で各家庭の状況を把握することは難しい。実際には、家族構成や同居者、保護者の職業等についても、十分把握できていない。

定時制高校

家庭内のセンシティブな内容を伴うため学校としてヤングケアラーとしての実態調査は行っておらず、実態を正確に把握できていない。また、ヤングケアラーの悩みや課題の解決において、学校（教員）の対応には限界があると思われる。

**（７）問5の選択肢は、「ヤングケアラー」と思われる子どもを把握するためのチェック項目として作成したのですが、追加すべき項目や分かりにくい点や案があればお書きください。
アご意見**

回答なし

イ変更項目案

回答なし

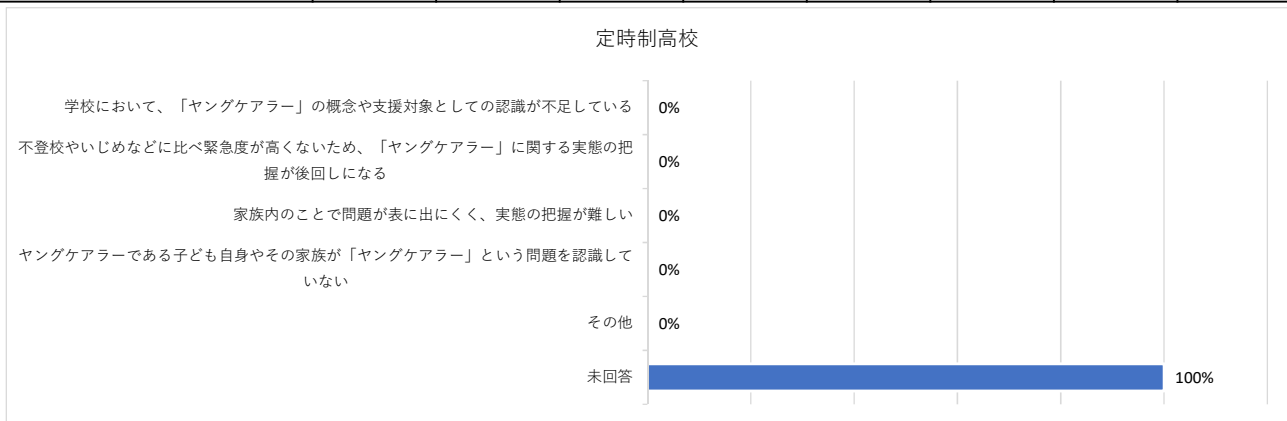
ウ追加項目案

回答なし

問15 問13で「3. 分からない」と回答した方にお伺いします。その理由をお教えてください。

(あてはまる番号すべてを選択)

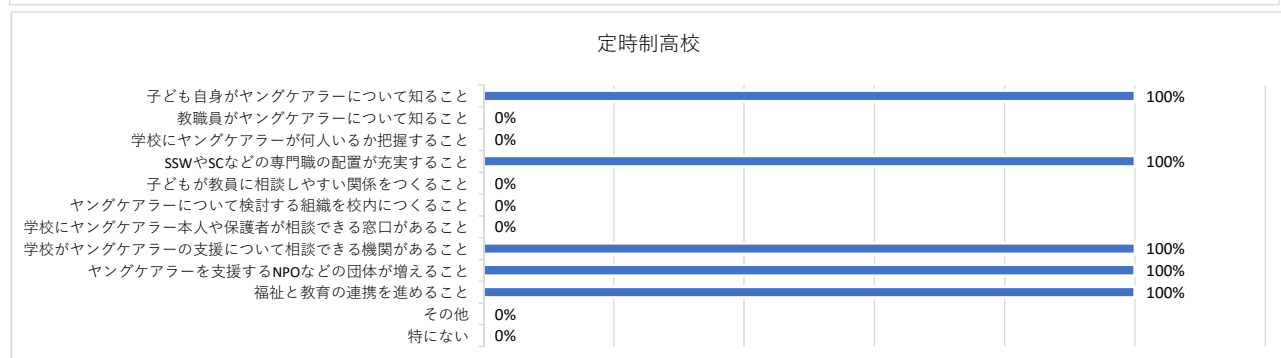
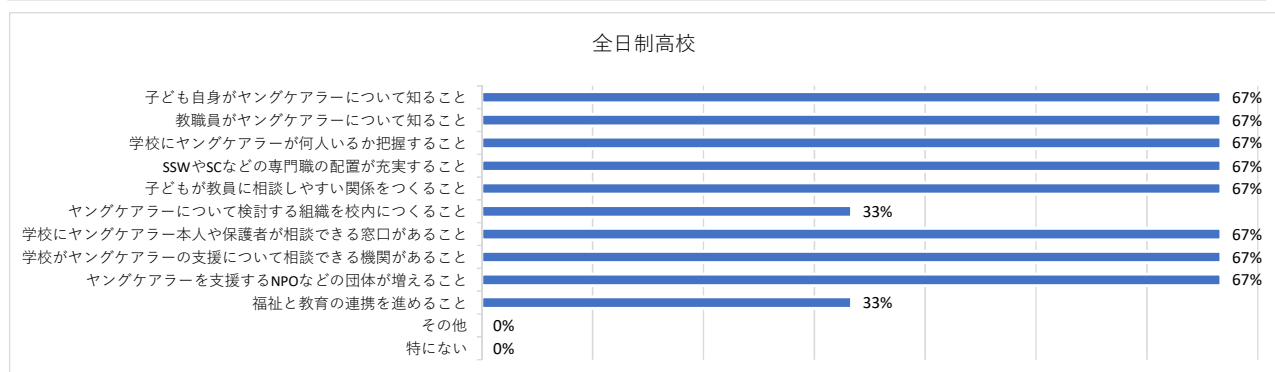
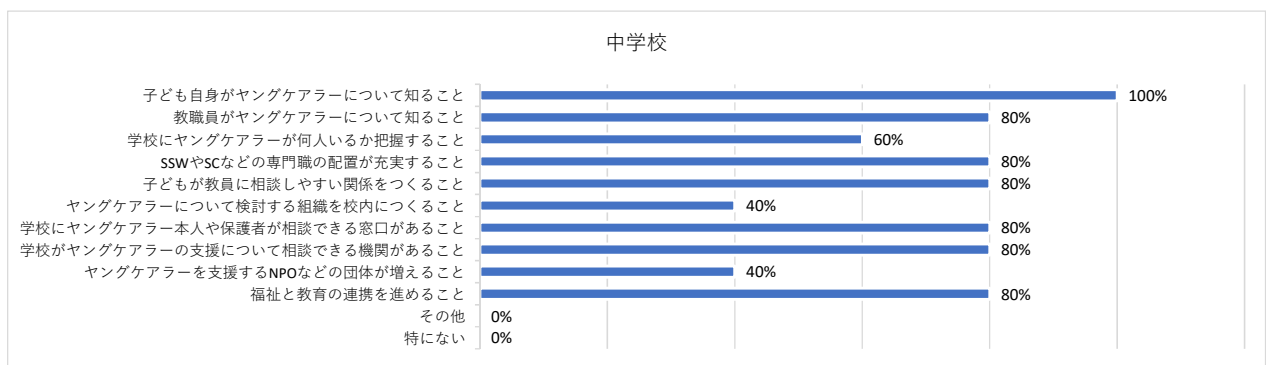
	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
不登校やいじめなどに比べ緊急度が不高いため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
未回答	0	0%	0	0%	1	100%	1	100%
n	0	0%	0	0%	1	100%	1	100%



問16 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてを選択)

	中学校		全日制高校		定時制高校		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
子ども自身がヤングケアラーについて知ること	5	100%	2	67%	1	100%	8	89%
教職員がヤングケアラーについて知ること	4	80%	2	67%	0	0%	6	67%
学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること	3	60%	2	67%	0	0%	5	56%

SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること	4	80%	2	67%	1	100%	7	78%
子どもが教員に相談しやすい関係をつくること	4	80%	2	67%	0	0%	6	67%
ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること	2	40%	1	33%	0	0%	3	33%
学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること	4	80%	2	67%	0	0%	6	67%
学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること	4	80%	2	67%	1	100%	7	78%
ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること	2	40%	2	67%	1	100%	5	56%
福祉と教育の連携を進めること	4	80%	1	33%	1	100%	6	67%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
特にない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
n	5	100%	3	100%	1	100%	9	100%



問17 ヤングケアラーへの支援に関して自由にご意見をお書きください。

全日制高校

ヤングケアラーに該当する生徒がいたとしたらSSWと連絡をとりどのような社会資源を活用し得るのか調査する必要があると考えている。